

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-02-19	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	都市計画公園用地取得事務	部課名	防災都市づくり部防災街づくり推進課	課長名	村山
		担当者名	笠原	内線	2851
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-05-01	都市計画公園用地取得事務費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成 19年度		根拠	東京都土地評価事務処理要領	
終期設定	●有 ○無 32年度		法令等	東京都の事業の施行に伴う損失補償基準等	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画	
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり		
目的	都市計画公園用地の取得を円滑かつ正確に行うことを目的とし、土地鑑定評価や物件調査・算定等の委託等を行う。				
対象者等	都市計画公園用地の土地所有者・借地権者・借家人等				
内容	<p>【土地鑑定評価委託】 土地の評価額は荒川区財産価格審議会において決定されるが、その参考とするため不動産鑑定士に、土地鑑定評価を委託する。</p> <p>【物件調査算定委託】 用地の取得により生じる損失の調査及び補償額の算定を委託する。 なお、補償額については、荒川区損失補償調査委員会等により決定される。</p>				
経過	<p>【進行中の都市計画公園事業の経過】 都市計画公園宮前公園（事業期間平成19年度～平成32年度）</p> <p>昭和32年12月 都市計画決定 平成19年10月17日 事業認可 平成27年1月29日 事業計画変更認可 平成27年12月16日 事業計画変更認可</p>				
必要性	安心で快適な魅力ある街づくりにおいて都市計画公園の整備は必要不可欠なものである。また、整備事業の中で用地取得は重要な要素となっている。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 用地買収における折衝業務等は直営で実施。土地鑑定評価や物件調査・算定については専門業者に委託。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	—	—	—	—	—	12,532	10,535	
①決算額（28年度は見込み）	—	—	—	—	—	7,417	10,535	
②人件費等	—	—	—	—	—	6,604		
③減価償却費	—	—	—	—	—	3,754		
【事務分担量】（%）	—	—	—	—	—	110		
合計（①+②+③）	0	0	0	0	0	17,775	10,535	
特定財源	国							
	都							
	その他							
一般財源	0	0	0	0	0	17,775	10,535	
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	取得契約件数（件）	—	—	—	—	—	5	2
	取得面積（㎡）	—	—	—	—	—	2,683.72	9,847.24
※28年度については見込みを含む								

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
			役務費	土地鑑定料	599	役務費	土地鑑定料	495
			委託料	物件調査算定委託	6,818	委託料	物件調査算定委託	10,040

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 都市計画公園宮前公園用地（認可H27.1）取得率（%）	-	-	100	-	-	公社取得面積/取得予定面積（2,664.7㎡）
	② 都市計画公園宮前公園用地（認可H27.12）取得率（%）	-	-	-	100	100	公社取得面積/取得予定面積（9,847.24㎡）
	③						

（問題点・課題分析）	用地取得にあたっては、権利者の生活再建のサポートが必要不可欠であり、今後も重点的に行っていかなければならない。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	平成27年度より具体的な用地取得に取り組むが、円滑に用地取得が進むよう、権利者の生活再建を重視し、折衝を行う。	権利者に事業を理解していただき、平成27年1月に認可を得て折衝を行っていた全用地については取得を完了した。	平成27年12月に認可を得た用地については、権利者の生活再建及びその他の課題について丁寧な折衝を行う。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	区の計画を踏まえ、取り組みを強化し、重点的に推進する。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-04-02	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	屋外広告物事務	部課名	防災都市づくり部施設管理課	課長名	川原	担当者名	山崎
				内線	2714		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-10-01	屋外広告物事務費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		24年度	根拠	屋外広告物法、東京都屋外広告物条例、同施行規則、荒川区手数料条例		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	○法令基準内 ●都基準内 ○区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	屋外広告物の表示、場所、方法などを規制することにより、良好な景観の形成、美観の維持、通行者の安全性を確保する。						
対象者等	屋外広告物掲出者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物事務 「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき区が処理する事務である。広告塔や広告板、車体利用広告などの広告物については、区条例で定められた手数料を徴収する。 ・違反広告物除却協力員制度 区民ボランティアが違反広告物を撤去する。 ・日々の道路パトロールにより違反広告物への警告札の貼付及び簡易除却できるものの除却を行っている。 ・平成27年度途中から、委託により閉庁日に違反屋外広告物の除却業務を開始した。 						
経過	<p>平成11年12月 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例制定（施行平成12年4月）</p> <p>平成12年3月 荒川区手数料条例制定</p> <p>平成16年4月 屋外広告物許可手数料改正</p> <p>平成17年12月 違反広告物除却協力員制度実施要綱制定</p> <p>平成20年12月 東京都屋外広告物条例施行規則の一部改正（看板等に貼付する許可済シール（標識票））</p>						
必要性	良好な景観の形成、美観の維持、通行者の安全性の確保につながり、住み良い街づくりの推進に必要である。						
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違反広告物除却協力員は無償ボランティア。はり紙のみ除却。（協力員証、腕章等交付） ・違反屋外広告物除却業務委託（株）フジクリーン 年50回 H28契約額2,322千円 						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額		77	217	223	166	145	563	2,978
①決算額（28年度は見込み）		72	137	101	93	44	521	2,978
②人件費等		12,627	12,284	12,054	9,872	10,682	13,048	/
③減価償却費		6,972	7,464	7,745	7,098	6,502	7,850	/
【事務分担量】（%）		240	240	240	210	200	230	/
合計（①+②+③）		19,671	19,885	19,900	17,063	17,228	21,419	2,978
特定財源	国							
	都							
	その他	手数料	7,023	5,956	7,023	5,956	7,150	7,244
	一般財源	12,648	13,929	12,877	11,107	10,078	14,175	2,978
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	屋外広告物許可件数	214	217	237	249	265	265	
	違反広告物除却協力員 数委嘱数（累計）	13(91)	8(99)	1(92)	34(97)	3(87)	10(84)	
	違反広告物除却件数（協力員除却）	9,638	8,961	4,416	4,602	4,802	2,443	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	協力員用消耗品	0	需用費	協力員用消耗品	63	需用費	協力員用消耗品	85
役務費	協力員保険料	44	役務費	協力員保険料	42	役務費	協力員保険料	58
			委託料	違反屋外広告物除却業務委託	416	委託料	違反屋外広告物除却業務委託	2,835

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 協力員数	97	87	84	100	100	違反広告物除却協力員数
	② 違反広告物除却件数(はり紙)	13,307	13,632	22,803	30,000	30,000	違反広告物除却協力員及び委託による除却数を含む
	③						

問題点・課題 (指標分析)	・違反広告物除却協力員制度の活用を図る。						
	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)						
他区の実況							

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	違反広告物について、区民への啓発を図る。また、道路監察車パトロールによる違反広告物の撤去活動を継続する。	あらかわ区報に掲載し、区民への啓発を図るとともに、道路監察車パトロールにより違反広告物の撤去を実施した。	違反広告物について、区民への啓発を図る。また、道路監察車パトロールによる違反広告物の撤去活動を継続する。
②	違反広告物除却協力員のネットワークの拡大を図る。	あらかわ区報に掲載し、新たな協力員の参加について実施した。	違反広告物除却協力員のネットワークの拡大を図る。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	推進	屋外広告物を規制することは、良好な景観の形成等に貢献する事業である。

議会要旨 (要旨)	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年10月会議 違反はり紙を掲出している住宅販売等事業者への指導について 平成27年2月会議 違反はり紙を掲出している住宅販売事業者への指導状況について
--------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-23	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	みどりの条例関係事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	高瀬
	01-01-01	みどりの条例関係費		内線	2752		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）							
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		55年度	根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	荒川区花と緑の基本計画に基づき、区民の緑化意識を啓発し、みどりへの関心を高め、花と緑の街づくりを推進するとともに既存のみどりを保存する。						
対象者等	区民						
内容	◇保護指定樹木等助成：区内に残る貴重なみどりを保全するため、一定の基準を満たす樹木、樹林生垣について保護の指定を行い、維持管理に係る経費の一部を助成する。 ※原則、維持管理に要した費用の1/2 限度額150,000円／一所有者 ◇生垣造成助成：生垣造成工事費及び生垣造成に係る塀等撤去費の1/2を助成する。 ◇緑化指導：一定規模以上の開発行為等に対して緑化を義務付ける。 ◇緑のカーテンサポート制度：環境課主催の講習会参加者に緑のカーテンづくりに必要な資材を提供し区民の緑のカーテンづくりをサポートすることで緑の普及につなげる。 ◇あらかわ緑花大賞表彰制度：緑花活動にかかわる人の関心を高め、活動を一層活発にしていけるため、区民や事業者がづくり育てている花壇などの花や緑を対象として表彰する。※平成21年度から実施 ◇あらかわ園芸名人認定制度：高いガーデニング知識を有する「あらかわ園芸名人」を養成し、地域の緑化アドバイザー及び緑化ボランティアのリーダーとして活躍してもらう。※平成22年度から実施						
経過	【保護指定樹木等助成】 平成10年度までは、所有者の申請に基づき区が剪定等を実施してきたが、平成11年度より所有者が維持管理に要した費用の一部を助成する方式に変更。 【生垣造成助成】 平成10年度から18年度までの間は、防災生活圏促進事業の一つとして東京都の補助金を活用していた。 【あらかわ緑花大賞】 平成21年度 制度新設 平成25年度 表彰部門を改編（緑のカーテン部門を新設） 【あらかわ園芸名人】 平成22年度 事業創設 あらかわ園芸名人養成講座（初級編）開催 修了22名 平成23年度 初級編講座 修了23名 上級編予備講座を開催 平成25年度 初級編講座 修了21名 上級編講座を開催 園芸名人認定17名 平成26年度 初級編講座 修了23名 上級編講座を開催 園芸名人認定11名 平成27年度 初級編講座 修了20名 上級編講座を開催 園芸名人認定18名						
必要性	「花と緑を通して幸せを実感できるまち」を実現するために、既存のみどりを保存するとともに、緑被率の向上や公園面積の拡大を進める他、区民一人ひとりが花や緑にかかわる活動に参加できる機会を提供することが重要となる。						
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員)						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		5,863	7,897	6,572	6,855	6,471	6,750
①決算額（28年度は見込み）		4,524	6,887	5,372	3,537	5,703	5,739	6,673
②人件費等		17,806	13,249	10,184	13,886	6,953	10,005	
③減価償却費		6,130	5,287	4,195	6,084	2,926	4,437	
【事務分担当量】（%）		211	170	130	180	90	130	
合計（①+②+③）		28,460	25,423	19,751	23,507	15,582	20,181	6,673
特定財源	国							
	都		0	0	0			
	その他							
一般財源		28,460	25,423	19,751	23,507	15,582	20,181	6,673
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	緑のカーテンサポート配付数（セット）	43	45	28	148	169	146	
	あらかわ緑花大賞表彰制度（件）	13	11	10	12	13	15	
	あらかわ園芸名人養成講座受講者数（人）	23	23	23	21	23	22	
	あらかわ園芸名人認定数（人）			21	17	11	18	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	あらかわ園芸名人養成講座	366	報償費	あらかわ園芸名人養成講座	353	報償費	あらかわ園芸名人養成講座	388
需用費	事業消耗品・緑化大賞贈	1,017	需用費	事業消耗品・緑化大賞贈	1,231	需用費	事業消耗品・緑化大賞贈	1,510
役務費	筆耕・樹木保険	32	役務費	筆耕・樹木保険	6	役務費	筆耕・樹木保険	24
使用料等	事業会場使用料	62	使用料等	事業会場使用料	5	使用料等	事業会場使用料	26
負担金補助等	生垣、保護樹木助成・シダレザクラ祭り補助	4,225	負担金補助等	生垣、保護樹木助成・シダレザクラ祭り補助	4,144	負担金補助等	生垣、保護樹木・シダレザクラ祭り補助	4,725

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 保護指定樹木指定本数（本）	-	3	2	2	2	累計 H28.4.1現在 210 本
	② 生垣造成延長(m)	6	12	5	43	43	累計 H28.4.1現在 2608 m
	③ 緑化指導実績(m ²)	3,626	4,044	3,689	5,094	5,094	各年度緑化計画面積

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年3月に策定した「荒川区花と緑の基本計画」に掲げた個別施策のうち、公園や緑地の整備などハード系の施策の推進は、財政的な負担が大きくなることから厳しい状況となっている。 このため、緑の普及と区民の緑化意識の向上を促す役割を担っている本事業は大変重要であり、効率的かつ効果的な執行を行っていく必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	・第3次花と緑の推進計画（平成27年度～30年度）に掲げた事業を計画的に実施していく。	・「あらかわ緑・花大賞表彰制度」について、近年応募者が減少してきている	・現在の制度を見直し、もっと身近に応募できるような方法を検討する。
②	・民有地の貴重な緑である「保護樹木」について、適正な維持がなされているか点検を行う。	・所有者の高齢化や世代交代などにより、適切に管理されていない樹木が多数確認できた。	・これら、適切に管理されていない「保護樹木」について詳細に調査するとともに区としての対応策について検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	既存の緑の保護や緑化の啓発など、区の緑化推進に貢献する事業である。

況 議 会 （ 要 旨 ） 問 状	H21一定	都電軌道敷の芝生化推進（一般質問）
	H2611月会議	都電軌道敷の芝生化（一般質問）

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-24	戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	都電沿線バラ植栽事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	石橋	内線	2752
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-01	都電沿線バラ植栽事業費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業 ●それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 62年度		根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市			
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成			
	施策	01 緑とうるおい豊かな生活環境づくり			
目的	荒川区のシンボルである都電荒川線の沿線をバラで包み込み、荒川区の中央を走るみどりの軸をつくることにより、美しい景観の創出や区民の心にうるおいと安らぎを提供する。また、区民に都電沿線のバラへの愛着を深めてもらい、区民とともに区の観光資源として育てていく。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	<p>◇整備 東京都交通局と協定を締結し、区内を走る都電の延長約4.8kmのうち約4.1km、両側にすると6.7kmの区間にバラを植栽。</p> <p>◇維持管理 剪定、摘実、摘雷、消毒、施肥、灌水、マルチング等の維持管理作業を、直営を主体として行っている。除草、清掃及び一部の摘実は委託している。</p> <p>◇区民の手による管理 「荒川バラの会」が区との協定に基づき、三ノ輪橋、荒川二丁目電停周辺及び荒川遊園等でバラの維持管理を行っている。区は、講習会の開催、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入など、会の活動を支援している。</p>				
経過	<p>◇昭和61年2月 東京都交通局と「都電荒川線及びその沿線の緑化に関する基本協定」を締結</p> <p>◇昭和60年度～平成3年度 植栽工事の実施</p> <p>◇平成14年度 区の観光資源として充実させるため再整備に着手。三ノ輪橋電停周辺と荒川遊園を整備</p> <p>◇平成15年度 区民の手による管理を導入し、「荒川バラの会」発足。荒川二丁目電停付近を整備</p> <p>◇平成17年度 区の都電沿線のバラによる観光まちづくりが「花の観光地づくり大賞」を受賞</p> <p>◇平成21年度 都電沿線のバラをPRするイベントとして「第1回あらかわバラの市」を開催</p> <p>◇平成22年度 荒川二丁目バラ花壇をバラの会の管理場所として拡大 「あらかわバラの市」を「都電沿線バラ植栽事業」から独立させる 荒川バラの会が「都市緑化基金会長賞を受賞（みどりの地域づくり部門）」を受賞</p> <p>◇平成25年度 荒川バラの会が「みどりの愛護功労者表彰国土交通大臣表彰」を受賞</p> <p>◇平成28年度 荒川バラの会が「平成28年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞</p>				
必要性	都電沿線のバラは、区の中央部のみどりの軸として、そのネットワークを形成する上で重要である。また、唯一残る都電とその周辺に咲き誇るバラの人気は高まっており、区の重要な観光資源として積極的に活用していくために、質の高いバラの維持管理を継続する必要がある。				
実施方法	<p>（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <p>◇都電沿線バラ管理委託 総合造園(株) 委託金額 ¥6,260,195（平成28年度）</p> <p>都電沿線バラ管理委託(¥5,260,195) + 公園等維持管理業務委託(¥1,000,000)</p>				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額		8,972	9,363	12,816	13,903	13,989	22,367	15,362
①決算額（28年度は見込み）		8,892	9,055	11,146	12,728	13,068	20,998	15,362
②人件費等		16,743	14,427	14,671	11,611	10,621	9,461	
③減価償却費		7,059	7,091	7,357	6,152	5,072	4,505	
【事務分担量】（%）		90	228	228	182	156	132	
合計（①+②+③）		32,694	30,573	33,174	30,491	28,761	34,964	15,362
特定財源	国							
	都							
その他								
一般財源		32,694	30,573	33,174	30,491	28,761	34,964	15,362
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	植栽数（株）	45	110	0	50	30	0	
	バラの会会員数（人）	50	57	62	64	80	85	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	バラ園芸講習会謝礼	121	報償費	バラ園芸講習会謝礼	92	報償費	バラ園芸講習会謝礼	130
需用費	維持管理用消耗品・飲料	1,461	需用費	維持管理用消耗品・飲料	1,318	需用費	維持管理用消耗品	1,604
役務費	保険料	20	役務費	保険料	22	役務費	保険料	41
委託料	維持管理委託	10,041	委託料	維持管理・案内板作成委託	14,191	委託料	維持管理委託	12,396
工事請負費	都電通りバラ植栽工事	1,426	工事請負費	植栽工事・給水管新設工事	5,375	工事請負費	都電沿線バラ植栽工事	1,191

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 植栽数(株)	13,410	13,440	13,440	13,490	15,000	数字は概数
	② 「荒川バラの会」会員数(名)	64	80	85	90	100	
	③						

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・バラを美しく咲かせるためには、剪定、咲きながら摘み、施肥、灌水等、適切な維持管理を継続的に実施していく必要がある。また、都電沿線のバラを区民とともに育てていくために、区民のバラに対する関心を高めるとともに担い手である「荒川バラの会」の活動を充実させていく必要がある。「平成28年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」の受賞を契機として、「荒川バラの会」を更に充実させていく。 ・都電沿線を区の「みどりの軸」として、また「景観軸」としてさらに発展させ、緑化推進のシンボルとしてPRするとともに、区の観光資源や商店街の振興策としても活用を図っていく。
	他区の実況 （実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区） 豊島区 南大塚都電沿線協議会が平成20年から都電沿線でのバラづくりをスタート

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	<ul style="list-style-type: none"> ・バラの適切な維持管理作業を継続的に実施する。 ・バラの会向けの講習会への新人会員の積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸名人養成講座上級編卒業生から4名が新たにバラの会に入会した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化推進係で主催する各種園芸講習会や環境課で行っている講習会参加者などに対し、広くバラの会への入会を促す。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者や商店街等によるバラの維持管理事例を少しずつ増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一事業者からバラの維持管理への参加要望があったが、安全面などから実施には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者や商店街等が維持管理に参加しやすくなるような方法を検討する。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどを活用し、継続的な広報を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あらかわバラの会」会員によりフェイスブックを立ち上げた。また、ブログを活用し開花状況など情報を発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きSNSを活用し、広く継続的に広報を行っていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。

況議 （要 会 質 問 状）	H23一定 「バラ」を新たな区の花に制定（一般質問）
-------------------------------	----------------------------

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	講師謝礼、出演料	150	報償費	講師謝礼、出演料	141	報償費	講師謝礼、出演料	150
需用費	販売用バラ、消耗品・ポスター印刷	4,359	需用費	販売用バラ、消耗品、ポスター印刷	4,276	需用費	販売用バラ、消耗品、ポスター印刷	4,438
役務費	イベント保険	43	委託料	イベント保険	1,916	役務費	イベント保険	62
委託料	会場設営委託等	1,875	使用料等	会場設営委託等	3	委託料	会場設営委託等	2,087
使用料等	会議室使用料	2				使用料等	会議室使用料	11

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
①	鉢バラの販売数(鉢)	5,000	6,000	6000	6,000	6,000	平成28年度販売数累計：40,000鉢
②							
③							

問題点・課題 (指標分析)	<ul style="list-style-type: none"> 「あらかわバラの市」をほうずき市やアサガオ市のようなイベントに成長させ、主目的である緑化推進のシンボル事業としてPRしていくとともに、観光振興や商店街振興策としても活用していく必要がある。 今後、地域ぐるみのイベントとして一層充実させるとともに、事業の継続性を高めるための取り組みを検討していく必要がある。
	他区の実況 （実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区） ・豊島区 南大塚都電沿線協議会が「大塚ばらまつり」を開催している。（区後援・年2回）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	・来場者が咲き誇る都電沿線のバラを見学できるように、ツアー等の実施を検討する。	・あらかわバラの市盛り上げ隊で参加した「あらかわまちの駅ネットワーク」が区内の場所を当てるクイズラリーを実施した。	・販売する鉢の種類の見直しや地域連携プロジェクトの一環として、バラを観光の目玉としている自治体に参加を働きかける。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	緑化のPR効果の高さに加え、観光や商店の活性化の視点からも重要な事業である。

状況 (要旨)	H21二定 イベント（あらかわバラの市の拡大・充実）による地域の活性化について（一般質問） H23一定 「バラ」を新たな区の花に制定（一般質問） H24一定 「あらかわバラの市」のさらなる充実による産業振興および情報発信（一般質問）
------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-26	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	区民主体の街なか花壇づくり事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	中山
				内線	2752		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-03-01	区民主体の街なか花壇づくり事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成 11年度		根拠	荒川区みどりの保護育成条例			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成					
	施策	01 緑とうるおい豊かな生活環境づくり					
目的	◇ 緑の少ない荒川区に花と緑の空間を創出していくために、区民が主体となって行なう花壇づくりを支援する。 ◇ 花壇づくりを通じて街の環境美化と区民同士のコミュニティの醸成を目指す。						
対象者等	・公募による申込み者 ・地元町会 ・サークル等						
内容	◇町会やグループなどの団体が自主的に行う花壇づくりを支援し、花のまちづくりを進める。 ◇区民が主体となって、草花の植え付けやその後の水やり・除草等の維持管理を行う。 ◇花壇は、公共的な場所に整備したり、大型のプランター等を設置して行う。 ◇活動団体と協定書を結び、区は、花苗の支給、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入等の活動支援をする。						
経過	【平成12年度】 モデルケースとして、荒川一丁目（千住間道）の都市計画道路残地内を借り上げて、花の植え付け教室を開催し、地元が管理を開始。 【平成13年度】 第1号となる街なか花壇を設置（荒川三丁目） 【平成18年度】 荒川区街なか花壇づくり実施要綱を策定 【平成22年度】 情報交換会、ふれあいティーパーティーを開催 【平成23年度】 57の参加団体を紹介するリーフレットを作成 【平成25年度】 74の参加団体を紹介するリーフレットを作成 【平成26年度】 情報交換会（南千住地区及び日暮里地区）の開催 【平成27年度】 情報交換会（荒川地区及び町屋地区）の開催 【平成28年度】 情報交換会（東尾久地区及び西尾久地区）の開催（予定） 平成28年度末の参加団体を紹介するリーフレットの作成（予定）						
必要性	緑が少ない荒川区において、花や緑に囲まれた美しい街並みを形成していくためには、区民が自分の暮らす街への愛着を深め、緑化活動に取り組むことが重要である。こうしたことから、区が花や緑とのふれあいの場を提供し、活動を支援する必要がある。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ◇街なか花壇づくり作業委託 六創園株式会社 委託金額 ¥9,987,967-（上限総額） 平成28年度						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		20,102	19,138	16,464	15,560	15,137	15,017
①決算額（28年度は見込み）		11,244	11,655	12,929	11,634	11,995	11,433	17,203
②人件費等		8,825	10,664	1,503	9,637	8,703	7,616	
③減価償却費		3,137	5,287	1,129	5,239	4,064	3,584	
【事務分担当量】（%）		108	170	145	155	125	105	
合計（①+②+③）		23,206	27,606	15,561	26,510	24,762	22,633	17,203
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源		23,206	27,606	15,561	26,510	24,762	22,633
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	参加団体協定締結数(新規)	12	11	11	8	8	9	
	参加団体協定締結数累計(解除数含む)	55	66	77	85	93	102	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	花壇用草花苗等	3,605	需用費	花壇用草花苗等	2,675	需用費	花壇用草花苗等	5,133
役務費	ボランティア保険	153	役務費	ボランティア保険	181	役務費	ボランティア保険	259
委託料	街なか花壇づくり作業委託	7,967	委託料	街なか花壇づくり作業委託	8,285	委託料	街なか花壇づくり作業委託	9,988
工事請負費	花壇造成工事	270	工事請負費	花壇造成工事	292	工事請負費	花壇造成工事	1,823

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 街なか花壇の数（実数）	74	81	90	94	95	・全町会に1箇所以上設置
	② ボランティア数（累計）	700	750	710	740	780	
	③						

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・団体数は増加しているものの、管理状態の悪い花壇も目立つようになってきた。 ・参加団体の増加に伴い、植替え時期が重なることが多くなり、日程調整が困難になってきている。また、各団体からの要望内容が多岐にわたり、対応が難しくなっている。 ・各団体、ボランティアの高齢化が目立ってきている。若い世代のボランティアへの参加を推進していかねばならない。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区） ボランティアの支援方法は、各区異なる。

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	今年度は、西地区（尾久、荒川、町屋）で活動する団体を対象に情報交換会を実施する。	・今年度は、荒川・町屋地区で活動する団体を対象に情報交換会を実施した。	・平成28年度は、尾久地区（西尾久・東尾久）で活動する団体を対象に情報交換会を実施する。
②	助成制度又は従来通り区からの支給制度のどちらが効率的かを検討する。	・先に従来通りの「区からの支援制度」を効率良く行うための見直しを行った。	・「区からの支援制度」を見直すとともに「支給制度」についても同時に検討を進める。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	区民と協働して花と緑のまちづくりを進めるための重要な事業である。

況 議 会 要 旨 問 状	H21一定	道路沿いにおける街なか花壇の推進（一般質問）
	H21二定	藍染川通りへのプランターの設置（一般質問）
	H24四定	熊野前駅周辺において街なか花壇を導入した緑化を進めるべき（一般質問）

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-27	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	花の公園整備事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	廣澤	内線	2757
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-04-01	花の公園整備事業費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠	都市公園法	
終期設定	○有 ●無	年度	法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画	●非計画
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり		
目的	花と緑のまちづくりのモデルとして、庁舎前の区民の憩いの場である荒川公園を花あふれる公園として整備し、維持管理する。				
対象者等	区民、来園者、来庁者				
内容	荒川公園において、年間を通じて花が鑑賞できるよう花壇を整備し、適正に管理する。 ●花壇面積（205㎡） ①季節ごとの花壇（季節ごとに花苗を植え替え） 100㎡ ②バラを主体とした花壇 83㎡ ③地被類の花壇 22㎡				
経過	平成18年度 荒川公園花壇整備工事を実施し、花壇やプランターを増設 平成21年度 荒川公園南側トイレ跡地に花壇を増設 平成23年度 植え替え時に撤去する花苗の再利用（公園利用者を対象）を開始 噴水周辺にバラ花壇を増設（枯死した樹木に替えてバラを植栽。花壇面積21㎡の増） 既存の花壇の一部をバラ花壇に変更 平成24年度 噴水周辺にバラ花壇を増設（花壇面積21㎡増） 平成26年度 実のなる木公園 復旧完了による花壇の増設（花壇面積 6㎡増） 平成27年度 花壇維持管理の見直しによる一部花壇の廃止（花壇面積 3㎡減）				
必要性	花と緑のまちづくりを進める拠点として、シンボリックな公園が必要である。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 荒川公園等花壇維持管理委託 株式会社後藤造園荒川支店 委託金額 ￥3,971,322_(H27)				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		13,649	13,278	7,186	6,813	6,599	6,533
①決算額（28年度は見込み）		8,121	8,385	6,621	5,802	6,597	3,971	6,533
②人件費等		1,046	1,101	1,074	915	4,712	924	
③減価償却費		349	404	420	372	1,983	410	
【事務分担量】（%）		12	13	13	11	61	12	
合計（①+②+③）		9,516	9,890	8,115	7,089	13,292	5,305	6,533
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源		9,516	9,890	8,115	7,089	13,292	5,305
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	花壇面積（㎡）	160	181	202	202	202	205	205

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	花壇維持管理委託	6,597	委託料	花壇維持管理委託	3,971	委託料	花壇維持管理委託	6,533

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 花壇面積（㎡）	202	202	205	205	205	
	②						
	③						

（問題点・課題 指標分析）	<p>荒川公園は、既存の大きな樹木が多いため花壇に適した日当たりの良い開放的な空間が少ないが、剪定等によりなるべく日当たりの確保できるようにしている。</p> <p>また、近年の天候の変化（気温・降水）に対応するため、既存の施設を改修または工夫により、花の公園にふさわしい維持管理を考慮していくことが必要である。</p>
	<p>（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）</p>
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	花苗・バラ・地被類の植付箇所を、既存施設の改修を含めて再検討する。	一部の花壇について、園芸名人養成講座受講生の活動場所として提供した。	園芸名人や街なか花壇等の区民による活動とも連携しながら花壇の充実を図る。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	花と緑のまちづくりのモデルとして、今後も継続する必要がある。

況議 （要 会 質 問 状	
------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-28	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	公園管理事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	松崎
	01-01-01	公園管理費		内線	2757		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01 公園管理費						
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 32年度		根拠	都市公園法・荒川区立公園条例・荒川区立荒川			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	自然公園条例			
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準			計画区分	○計画 ●非計画		
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市				
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成				
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり				
目的	区民等が利用する公園施設を安全・快適・清潔に維持する。						
対象者等	区民及び荒川区を訪ねる人						
内容	◇対象施設 ・区立公園（あらかわ遊園を除く32箇所） ◇業務内容 ・園内の清掃 ・樹木の剪定 ・遊具の安全点検及び修繕 ・電気施設の保持 ・その他施設の維持						
経過	◇平成15年度 モデル花壇維持費の事業廃止に伴い、本事業に花壇維持管理委託を組替した。 グリーンサポーター制度（児童遊園、グリーンスポットを含む）の試行を実施。 ◇平成16年度 夜間巡回業務を実施。（16年度のみ公園緑地課で実施、危機管理対策室に執行委任） ◇平成17年度 地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。 ◇平成19年度 公園等遊具緊急安全点検を実施。 ◇平成20年度 巡回業務委託を実施。 ◇平成22年度 清掃等の業務委託を一部組替。 ・天王公園…公園清掃、トイレ清掃及び水施設管理を統合して委託。 ・瑞光橋公園…公園清掃とトイレ清掃を統合して委託。 ◇平成24年度 直営作業の一部を業務委託により実施。						
必要性	区民が安心して利用できる衛生的で安全な公園を提供するため、適正に管理することが必要である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ◇荒川自然公園運営業務委託（株）富士植木 金額 ¥56,571,429-（H27） ◇公園等維持管理業務委託 岩田造園土木（株）/有花代緑化 合計金額 ¥20,956,218-（H27）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		239,985	231,283	238,836	233,489	239,366	237,956
①決算額（28年度は見込み）		207,681	200,346	207,993	209,822	220,451	222,270	238,239
②人件費等		41,876	38,623	27,385	18,894	16,171	16,719	
③減価償却費		23,531	24,414	18,072	10,985	9,916	10,819	
【事務分担量】（%）		810	785	560	325	305	317	
合計（①+②+③）		273,088	263,383	253,450	239,701	246,538	249,808	238,239
特定財源	国							
	都							
	その他 公園施設使用料（荒川自然公園）	31,993	20,416	7,840	8,762	8,759	9,982	8,758
一般財源		241,095	242,967	245,610	230,939	237,779	239,826	229,481
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	公園（数）	33	33	33	33	33	33	34
	公園面積（㎡）	196,532	196,532	196,532	196,532	200,827	201,623	202,775
	グリーンサポーター（施設数）	27	27	27	27	26	26	26

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	公園連絡員謝礼	720	報償費	公園連絡員謝礼	720	報償費	公園連絡員謝礼	744
需用費	電気・水道料金等、消耗品・家屋修繕	39,381	需用費	電気・水道料金等、消耗品・家屋修繕	40,678	需用費	電気・水道料金等、消耗品・家屋修繕	43,004
役務費	塵芥収集運搬等	5,006	役務費	塵芥収集運搬等	4,961	役務費	塵芥収集運搬等	5,907
委託料	清掃等委託	169,409	委託料	清掃等委託	173,612	委託料	清掃等委託	186,097
工事請負費	管理事務所空調機改修	3,202	原材料費	公園維持管理用材料	1,695	原材料費	公園維持管理用材料	1,729
原材料費	公園維持管理用材料	1,753	備品購入費	自然公園備品	97	備品購入費	公園作業用備品	258
備品購入費	自然公園備品	487	負担金補助等	ホタル観賞のタベ補助	450	負担金補助等	ホタル観賞のタベ補助	450

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 陳情件数	76	36	41	50	50	陳情件数を限りなくゼロに近づける。
	② 遊具の安全度(%)	99	100	99	100	100	(Dランク(至急対策が必要)以外の遊具数/全遊具数)×100
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①公園等の維持管理作業を担う土木管理事務所(公園担当)は、人員の減少が進み、従来の作業体制を維持することがより困難な状況になっている。公園等の維持管理レベルを保つためには、委託化をさらに拡大していく必要がある。
	②公園施設の更新が順次進められているが、まだ老朽化が進行している施設があり、機能回復や安全性の確保のための対策が十分にできないものもある。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	直営作業の委託化をさらに進め、全面委託への移行を図る。	植栽管理の委託化を拡大し、全面委託への移行を進めた。	直営作業の委託化を推進し、全面委託への移行を図る。
②	施設物の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に改築・更新していく。	遊具等施設物の定期点検を実施し、緊急性の高い遊具については、修繕により機能を回復した。	施設物の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	快適に利用できるよう、適正に公園を維持管理する必要がある。

況議 (要 旨 問 状)	【H22一定】 公園の時間帯別ルールについて 【H26.9月会議】 ドッグランの設置について 公園内での花火について 【H27.11月会議】 ドッグランの設置について
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-29	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	児童遊園管理事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木	担当者名	松崎
				内線	2757		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-01	児童遊園管理費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 39年度		根拠	荒川区立児童遊園条例			
終期設定	○有 ●無		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成					
	施策	01 緑とうるおい豊かな生活環境づくり					
目的	児童を含め地域住民が利用する児童遊園等の施設を安全・快適・清潔に維持する。						
対象者等	小学校区を単位とした地域住民						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 対象施設 <ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園 73箇所 ・グリーンスポット等 24箇所 ◇ 業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ・園内の清掃 ・樹木の剪定 ・遊具の安全点検及び修繕 ・電気施設の保守 ・その他施設の維持 						
経過	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成7年度 清掃業務を全箇所週6日から週3日に見直した。 ◇平成15年度 区の木「サクラ」及び緑地の維持管理業務を、都電通り等緑地維持管理業務から本事業に組替え。 清掃業務を、週5日は1箇所（三ノ輪橋広場：都電通り等緑地維持管理業務から組替え）、週3日は18箇所、週2日は56箇所、週1日は5箇所に見直した。 ◇平成17年度 地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。（地域ごとに計画的に実施） ◇平成19年度 公園等遊具緊急安全点検を実施。 ◇平成20年度 巡回業務委託を実施。 ◇平成22年度 新設の熊野前南児童遊園の維持管理等について、地元町会及び商店街と「荒川区立熊野前南児童遊園における維持管理等に関する相互協力協定」を締結。 ◇平成24年度 直営作業の一部を業務委託により実施。 						
必要性	児童、区民等が安心して利用できる衛生的で安全な児童遊園等を提供するため、適正に管理することが必要である。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ◇公園・児童遊園等清掃委託 シルバー人材センター ¥11,839,857-（H27） ◇公園等維持管理業務委託 岩田造園土木(株)/(有)花代緑化 合計 ¥11,052,852-（H27）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額	58,574	58,918	64,740	66,478	66,075	66,666
①決算額（28年度は見込み）	53,838	54,796	56,922	58,949	60,589	60,797	67,433
②人件費等	32,545	29,528	23,971	15,582	10,296	12,280	
③減価償却費	15,978	16,328	15,328	8,382	6,339	7,406	
【事務分担量】（%）	550	525	475	248	195	217	
合計（①+②+③）	102,361	100,652	96,221	82,913	77,224	80,483	67,433
特定財源							
国							
都							
その他							
一般財源	102,361	100,652	96,221	82,913	77,224	80,483	67,433
実績の推移	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事項名							
児童遊園数(園)	73	73	73	73	73	73	73
児童遊園面積(m ²)	34,930	34,930	34,930	34,930	35,417	35,417	35,393
区の木サクラ(本)	266	265	265	264	263	263	249

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	公園連絡員謝礼	1,848	報償費	公園連絡員謝礼	1,830	報償費	公園連絡員謝礼	1,848
需用費	電気・水道料金、消耗品・修繕	9,189	需用費	電気・水道料金、消耗品・修繕	7,227	需用費	電気・水道料金、消耗品・修繕	9,911
役務費	塵芥収集運搬	3,882	役務費	塵芥収集運搬	3,888	役務費	塵芥収集運搬	3,986
委託料	清掃その他委託	44,388	委託料	清掃その他委託	46,581	委託料	清掃その他委託	50,409
原材料費	維持管理用原材料	1,282	原材料費	維持管理用原材料	1,271	原材料費	維持管理用原材料	1,279

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 陳情件数	82	80	38	50	50	陳情件数を限りなくゼロに近づける。
	② 遊具の安全度(%)	100	100	99	100	100	(Dランク(至急対策が必要)以外の遊具数/全遊具数)×100
	③						

（問題点・課題 指標分析）	①児童遊園等の維持管理作業を担う土木管理事務所（公園担当）は、人員減少が進み、従来の作業体制を維持することがさらに困難となっている。児童遊園等の維持管理レベルを保つためには、委託化をさらに拡大していく必要がある。
	②児童遊園等の施設の老朽化の進行に伴い、従来の維持的な修繕だけでは機能回復や安全性の確保のための対策が十分にできない状況にある。
	③利用者や近隣住民が快適に過ごせるようにするために、地域住民の協力を得て連携して維持管理に取り組む児童遊園等を増やしていく必要がある。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	直営作業の委託化をさらに進め、全面委託への移行を図る。	植栽管理の委託化を拡大し、全面委託への移行を進めた。	直営作業の委託化を推進し、全面委託への移行を図る。
②	施設物の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に改築・更新していく。	遊具等施設物の定期点検を実施し、緊急性の高い遊具については、修繕により機能を回復させた。	施設物の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。
③	維持管理において、地域住民(特に町会)との協議及び相互協力協定の締結を進める。	相互協力協定を締結した団体や地元町会等と連携を図り、児童遊園の維持管理に努めた。	維持管理において、地域住民(特に町会)との協議及び相互協力協定の締結を進めていく。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	快適に利用できるよう、適正に児童遊園等を維持管理する必要がある。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	電気・水道料、施設修繕	6,304	需用費	電気・水道料、施設修繕	6,322	需用費	電気・水道料、施設修繕	7,393
委託料	清掃委託	19,192	委託料	清掃委託	19,232	委託料	清掃委託	23,044

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 陳情件数	3	2	4	2	-	陳情件数ゼロを目指す。
	②						
	③						

問題点・課題 (指標分析)	いたずら等による汚損や破損が発生し、利用者の快適性が損なわれている。また、古いトイレにおいては、施設物の経年劣化が著しくなっている。						
	他区の実況 (実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)						

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	汚損・破損の著しい便器などの交換、破損・故障したフラッシュバルブなどの修繕または交換を行う。	清掃時等の点検により発見した施設物の破損・故障については、早急な修繕を実施した。	施設物の破損・故障については、修繕等を行う。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	区のイメージアップのためにも、トイレ利用者が快適に利用できるよう管理する必要がある。

況 (要旨)	議会質問状
-----------	-------

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
旅費	工事検査旅費	7	工事請負費	公園改修工事	32,906	需用費	防犯カメラパネル	106
工事請負費	公園改修工事	66,253	備品購入費	防犯カメラ等	1,011	工事請負費	公園改修工事	32,080
						備品購入費	防犯カメラ	15,000

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 入口段差等解消率（%）	89	89	89	89	94	段差解消済み公園数／公園数（33）
	② 水飲み（車椅子対応型）改修率（%）	80	80	80	80	85	車椅子対応型水飲み設置公園数／公園数
	③						

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備については、計画的な改修によって安全性や利便性を確保していかなければならない。 ・改修にあたっては、バリアフリー新法に対応しなければならない。 ・複合遊具は、老朽化したものが多く、安全性の問題から撤去した場合には再設置を検討する必要がある。 ・長寿命化と安全基準の整合をとる必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	長期的な維持管理が最小のコストで行えるように、改修内容を検討する。	地域住民や利用者の意見を参考に、スポット改修を実施し、安全性や快適性等の向上を図った。	遊具の安全点検の結果を基に、低コストで長期的な維持管理を行なえる公園改修を図る。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	公園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

況 議 会 （ 要 旨 ） 質 問 状	H21一定 尾竹橋公園に区営運動場設置について H21四定 西日暮里公園の改修にあたっての、バリアフリー化について H21四定 老朽化の進む日暮里南公園の改修予定について
--	---

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-32	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	公園新設拡充事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	田中	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-02	公園新設・拡充費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業		○それ以外の継続事業
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	都市公園法	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区区立公園条例及び同条施行規則	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市			
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成			
	施策	01 緑とうるおい豊かな生活環境づくり			
目的	花と緑の基本計画に基づき、みどりの拠点となる公園や地域における身近なみどりの核となる公園を、地域のバランスに配慮して整備、拡充し、良好で快適な生活空間を創出する。				
対象者等	区民および荒川区を訪れる人				
内容	◇ 整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、区民1人当たりの公園面積の拡充を図っている。 ◇ 整備に当たっては、災害時における一時避難場所としての防災機能を持たせ、防災性の向上にも努めている。 ◇ 社会資本整備総合交付金等を積極的に活用し、事業を計画的に推進している。				
経過	平成19年度（仮称）宮前公園用地取得 平成20年度（仮称）宮前公園第二期整備用地測量委託 平成21年3月 「荒川区花と緑の基本計画」策定 平成21年度 町屋公園（尾竹橋公園拡張用地）測量委託 平成22年度 宮前公園第二期地歴調査委託、町屋公園・宮前公園補足測量委託 平成25年度 荒川二丁目公園拡張整備 平成26年度 宮前公園基本設計委託、藍染公園拡張用地暫定整備 平成27年度 宮前公園第一期実施設計委託、藍染公園基本・実施設計委託、町屋二丁目公園新設工事 尾久八幡公園拡張整備工事 等 平成28年度（予定）宮前公園第二期実施設計委託及び先行整備工事、（仮称）白鬚橋公園設計委託及び新設工事、藍染公園全面改修工事				
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は、都立公園も含めて42.9haと増加したが、「荒川区花と緑の基本計画」で定めた目標である55.2haを達成するため、地域のバランスも考慮しながら、引き続き、面積の拡充に取り組む必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		10,850	—	100,116	71,173	263,351	151,751
①決算額（28年度は見込み）		10,404	—	49,000	59,743	261,223	87,348	1,451,174
②人件費等		1,308	847	2,478	4,574	5,408	15,546	
③減価償却費		436	311	968	1,859	2,276	6,894	
【事務分担量】（%）		15	10	30	55	70	202	
合計（①+②+③）		12,148	1,158	52,446	66,176	268,907	109,788	1,451,174
特定財源の推移	国	<small>密集住宅市街地整備促進事業費・地域の元気臨時交付金・都市公園整備事業費</small>		24,300	32,270	2,089	8,066	353,000
	都	<small>密集住宅市街地整備促進事業費</small>		13,225	13,020	1,044	4,033	0
	その他	<small>災害対策基金繰入金</small>					0	0
	一般財源	12,148	1,158	14,921	20,886	265,774	97,689	1,098,174
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	整備面積 (ha)	—	—	—	0.02	0.1	0.1	0.4

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	設計委託	14,025	委託料	設計委託	28,789	旅費	検査旅費	50
工事請負費	藍染公園拡張用地暫定工事	4,453	工事請負費	新設・拡張工事	47,892	委託料	設計委託	33,358
財産購入費	用地取得費	242,745	財産購入費	用地取得費	10,666	工事請負費	新設・全面改修工事	228,396
						財産購入費	用地取得費	1,189,370

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 公園・児童遊園面積 (ha)	42.7	42.8	42.9	43.3	47.2	目標値算定は、人口184,000人×3㎡=55.2ha
	②						都立公園含む総面積
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 公園の総面積は区全体として十分とは言えず、また地域的にも偏在している。 都市計画公園宮前公園及び町屋公園の整備に向け、計画的に用地取得を進める必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	隅田川沿いの公園整備に伴うスーパー堤防の施工協議を進める。	東京都と公園整備に即した具体的な整備内容や整備時期の協議を実施した。	整備工事の実施に向けた協議を進める。
②	社会資本整備総合交付金や都市計画交付金等を活用する際には、各交付要綱等を遵守する。	各関係部署と連携し、各交付金等の導入に向けた関係機関協議を進めた。	各関係部署と連携し、各交付金の導入を図る。
③	用地取得に向け、各関係部署と緊密に連携する。	各関係部署と連携し、用地取得協議を実施した。	各関係部署と連携し、用地取得を図る。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	緑の拠点となる公園の整備は、緑の量的な充実に直接結びつくものである。

況議 （要 旨） 問 状	H22二定 尾竹橋公園の「区民と協働の公園づくり」について H22四定 隅田川文化の再生と観光振興策について H23四定 住民の意見を取り入れた宮前公園の整備について H25四定 旧町屋ひろば館用地の活用について H269月 宮前公園の整備時期について
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-33	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	児童遊園改良事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	田中	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-01	児童遊園改良費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業 ○それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 25年度		根拠	児童福祉法、荒川区立児童遊園条例	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	都市公園法	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり		
目的	老朽化した児童遊園・広場等の設備等の改修、段差解消等のバリアフリー化その他新規設備の設置等を行ない、安全性や快適性、利便性の向上を図る。				
対象者等	主に小学校区を単位とした地域住民				
内容	【改良工事】 1. 入口、車止め等の管理施設の設置 2. 植栽等の修景施設の設置 3. 広場や遊戯施設の設置 【改修工事】 1. 遊具、公園灯等の改修 2. 犬猫のフン害対策のための砂場改修 3. 施設物塗装・樹木の植栽工事				
経過	【近年実施状況】 平成20年度 児童遊園施設物塗装工事 他 平成21年度 西日暮里一丁目広場トイレ新築工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成22年度 町屋二丁目児童遊園トイレ新築工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成23年度 町屋七丁目児童遊園遊具取替工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成24年度 町屋六丁目東児童遊園入口改修工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成25年度 西尾久八丁目児童遊園遊具取替その他工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成26年度 西日暮里一丁目広場防球フェンス設置工事、児童遊園施設物塗装工事 他 平成27年度 児童遊園施設物塗装工事 他 平成28年度（予定） 尾久第五児童遊園遊具改修工事、児童遊園小規模改修工事 他				
必要性	区民がいつでも安心して利用できるように、安全性、利便性、快適性を確保する必要がある。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額		24,261	17,419	13,358	23,337	13,220	10,686	16,777
①決算額（28年度は見込み）		20,344	16,767	13,037	20,901	12,133	10,331	16,777
②人件費等		8,894	7,876	5,204	8,400	6,644	1,616	
③減価償却費		2,693	2,892	2,033	3,414	2,796	717	
【事務分担量】（%）		102	93	63	101	86	21	
合計（①+②+③）		31,931	27,535	20,274	32,715	21,573	12,664	16,777
特定財源の推移	国			0				
	都			0				
	その他			0				
	一般財源		31,931	27,535	20,274	32,715	21,573	12,664
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	工事件数	3	1	6	4	4	3	4

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	防球ネット設置工事・施設物塗装工事外	12,133	工事請負費	改修工事	10,331	工事請負費	改修工事	16,777

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 入口段差等解消率（%）	75	75	75	75	78	段差解消済み児童遊園数／児童遊園数(73)
	② 水飲み（車椅子対応型）改修率（%）	67	67	67	67	70	車椅子対応型水飲み設置児童遊園数／児童遊園数(73)
	③						

（問題点・課題 指標分析）	<ul style="list-style-type: none"> 園内にバリアフリー化の対応が必要な施設がある。 老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。 細街路拡幅整備を実施していない児童遊園がある。（建築基準法第42条2項） 毎年実施する遊具緊急安全点検の結果を踏まえ、施設の安全性を確保しつつ長寿命化を考慮に入れた計画的な施設改修を検討する必要がある。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	長寿命化を考慮に入れた計画的な施設改修計画を策定し、維持管理コストの低減と公園の質の向上を検討する。	地域住民や利用者の意見を参考に、スポット改修を実施し、安全性や快適性等の改善を図った。	遊具の安全点検の結果を基に、低コストで長期的な維持管理を行なえる児童遊園の改修を図る。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	児童遊園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

況 議 （要 会 質 問 状）	
-----------------------------------	--

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-34	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	児童遊園新設拡充事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	田中	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-02	児童遊園新設・拡充費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業 ○それ以外の継続事業		
開始年度	○昭和 ●平成	14年度	根拠	荒川区立児童遊園条例、都市公園法	
終期設定	○有 ●無	年度	法令等		
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画	
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり		
目的	花と緑の基本計画に基づき、街区公園を補完して豊かな生活環境をつくる児童遊園や広場等を整備する。				
対象者等	主に小学校区を単位とした地域住民				
内容	◇ 整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、地区における児童遊園や広場の面積拡充を図る。 ◇ 住宅密集地におけるオープンスペースを確保することで、防災性の向上を図る。 ◇ 社会資本整備総合交付金や都補助制度等を活用し、積極的に事業を推進している。				
経過	平成14年度 若宮八幡児童遊園新設 584㎡ 汐入せせらぎ広場新設 1589㎡（道路課施工） 平成16年度 南千住六丁目児童遊園新設 471㎡（防災広場から所管換え） 平成19年度 荒川一丁目広場新設 738㎡ 平成20年度 町屋四丁目児童遊園新設 713㎡、町屋二丁目児童遊園新設（くすのき山公園）998㎡ 平成21年度 荒川四丁目児童遊園新設 479㎡ 平成22年度 熊野前南児童遊園新設（くまのまえはっぴい公園）945㎡ 平成26年度（仮称）荒川二丁目広場新設工事設計委託 平成27年度 西尾久一丁目児童遊園拡張整備 65㎡、町屋第四児童遊園拡張整備 30㎡ 平成28年度（予定）東尾久一丁目児童遊園拡張整備工事 87㎡、（仮称）荒川二丁目広場整備工事 438㎡				
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は42.8haと増加したが、まだ少ない状況にあり、「荒川区花と緑の基本計画」で定めた目標である55.2haを確保するために、児童遊園の整備・拡充に積極的に取り組まなければならない。				
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）								
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額		47,797	—	—	—	41,893	39,848	46,248	
①決算額（28年度は見込み）		101,950	—	—	—	38,296	39,434	46,248	
②人件費等		7,412	847	—	—	773	5,002		
③減価償却費		2,469	311	—	—	325	2,218		
【事務分担量】（%）		85	10	0	0	10	65		
合計（①＋②＋③）		111,831	1,158	0	0	39,394	46,654	46,248	
特定財源	国	密集住宅市街地整備促進事業費	39,594	0	0	0	17,840	16,926	4,912
	都	密集住宅市街地整備促進事業費	19,797	0	0	0	8,920	8,463	2,456
	その他	災害対策基金繰入金							
	一般財源		52,440	1,158	0	0	12,634	21,265	38,880
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	新設工事件数	1	—	—	—	—	—	1	
	拡張工事件数	—	—	—	—	—	2	1	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
委託料	設計委託	2,449	工事請負費	拡張工事	8,627	工事請負費	拡張・新設工事	46,248
財産購入費	用地取得費	35,847	財産購入費	用地取得費	30,807			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 公園・児童遊園面積（ha）	42.7	42.8	42.9	43.3	43.4	目標値算定は、人口184,000人×3㎡=55.2ha
	②						都立公園含む総面積
	③ 小学校区域に3園以上（%）	54.2	54.2	54.2	54.2	58.3	小学校通学区域は24

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 公園・児童遊園の総面積は区の全体として十分とは言えず、また地域的にも偏在している。 新設・拡充に適切な位置にあり、かつ適度な規模の用地を確保することが難しい。
	他区の実況 （実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	用地取得に向け、各関係部署と緊密に連携を図り適地の取得に努める。	各関係部署と連携し、児童遊園拡張用地の取得を進めた。	関係部署と連携し、補助金等を活用した用地取得を図り児童遊園整備を進める。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	継続	児童遊園の整備は、子育て支援策や街の防災性向上にも効果的な事業である。

況議 （要 会 質 問 状）	H21二定 密集地域における公園用地確保について
-------------------------------	--------------------------

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-35	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	公衆トイレ新設改良事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名	大木
		担当者名	田中	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-03-01	公衆トイレ新設改良費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業 ○それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 63年度		根拠	都市公園法、建築基準法、バリアフリー新法	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区公衆トイレに関する条例	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画	
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市		
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成		
	施策	01	緑とうるおい豊かな生活環境づくり		
目的	公衆トイレを適正に配置し、区民が安心して利用できる清潔で快適なトイレに整備、改善する。				
対象者等	区民および荒川区を訪れる人				
内容	<p>平成8年2月に荒川区公衆トイレ設置基準を制定し、設置間隔500mを標準として設置している。また、鉄道駅前および駅周辺については間隔にかかわらず設置している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ新設…新たに設置 ・公衆トイレ改良…老朽化したトイレの撤去・新設 ・公衆トイレ改修…部分的な改修、塗装等 <p>公園、児童遊園のトイレも公衆トイレとしての機能を担っている。</p>				
経過	<p>◇昭和63年度から平成5年度まで、アメニティトイレの整備（実施計画事業）機能の向上やデザイン等に配慮した質の高い整備を行ない、清潔でかつ快適な施設とした。毎年1箇所を標準として7箇所を整備した。</p> <p>◇平成8年2月、荒川区公衆トイレ設置基準を制定し、公園・児童遊園の全面改修や市街地再開発に伴ってトイレの改良を行っている。</p> <p>◇平成22年度 原稲荷公衆トイレ改良</p> <p>◇平成23年度 峡田公衆トイレ改良</p> <p>◇平成25年度 地蔵堀公衆トイレ改良</p> <p>◇平成28年度（予定） 藍染公園公衆トイレ改良、（仮称）白鬚橋公園トイレ新設</p>				
必要性	<p>◇廃棄物の処理及清掃に関する法律は、必要な場所に公衆トイレを設け、衛生的に維持管理することを市町村に義務づけている。</p> <p>◇公衆トイレは、生活環境の保全及び公衆衛生の向上の観点から不可欠な施設である。</p>				
実施方法	<p>（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。 				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		10,133	9,559	471	13,203	471	471
①決算額（28年度は見込み）		9,885	9,119	327	12,781	390	373	38,223
②人件費等		1,134	3,218	1,900	3,410	773	1,231	
③減価償却費		378	1,182	743	1,386	325	546	
【事務分担量】（%）		13	38	23	41	10	16	
合計（①+②+③）		11,397	13,519	2,970	17,577	1,488	2,150	38,223
特定財源	国							
	都							
	その他							
一般財源		11,397	13,519	2,970	17,577	1,488	2,150	38,223
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	公衆トイレ新設か所数	—	—	—	—	—	—	—
	公衆トイレ改良か所数	1	1	0	1	1	—	1
	公衆トイレ改修か所数	1	1	1	1	—	—	—

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	塗装工事	390	工事請負費	塗装工事	373	旅費	検査旅費	50
						工事請負費	トイレ改良・新設工事	38,173

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 公衆トイレ設置累計（箇所）	35	35	35	35	35	
	② 公衆トイレの改良率（%）	63	63	63	66	66	改良済みの数/公衆トイレの数
	③						

問題点・課題 (指標分析)	<p>◇公衆トイレ35箇所のうち、設置後25年以上経っているものが3割近くを占めており、施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>◇バリアフリー新法及び建築物バリアフリー条例の施行により、建設・改築するトイレは、バリアフリー化することが求められているため、整備コストがかかる。</p> <p>◇老朽化への対応だけではなく、利用者実態により、トイレ空間の充実をはかる必要がある。</p>
	<p>他区の実況</p> <p>（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）</p>

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	定期的な点検等で、現状把握を行い、安全、安心、快適にトイレが利用できるように、改修計画の策定に取り組む。	民間活力を導入した、日常・非日常の利用対応の検討を実施した。	利用実態の基に、既存ストックを再評価し、積極的に活用することで、低コストで行えるトイレ改修を図っていく。
②	長寿命化を考慮にいたしたライフサイクルコスト低減の検討を行う。	スポット改修を実施し、安全性や快適性等の改善を図った。	利用実態の基に、既存ストックを再評価し、積極的に活用することで、低コストで行えるトイレ改修を図っていく。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	経年とともに劣化していく施設であり、継続して推進していく。また、設置基準を満たしていない地域への対応を考える必要がある。

況 (要旨)	議 会 質 問 状
-----------	-----------------------

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	10-05-36	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事
事務事業名	グリーンスポット整備事業	部課名	防災都市づくり部道路公園課	課長名
		担当者名	田中	内線
				2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	---			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		●建設事業 ○それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成 元年度		根拠	
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市		
	政策	08 良好で快適な生活環境の形成		
	施策	01 緑とうるおい豊かな生活環境づくり		
目的	グリーンスポットは、公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る機能を持つものである。			
対象者等	主に地域住民			
内容	公園、児童遊園より規模の小さい敷地については、グリーンスポットとして整備し、街に花と緑があふれ、人々にゆとりを与える空間とする。 「防災都市づくりに資するオープンスペース用地の取得に関する指針（平成27年3月17日策定）」に基づき、グリーンスポット整備については、設置場所の中心を密集地域以外に移し、密集地域では、小規模な敷地を防災機能を持つ空間を持つ防災スポットとして整備する。			
経過	平成元年度より整備を進めている。現在まで財源の確保が図れる密集市街地整備促進事業と連携して整備を進めた。 平成13年度まで 6か所新設 平成16年度 東尾久八丁目グリーンスポット新設（開発による提供） 平成17年度 荒川六丁目西グリーンスポット、町屋四丁目グリーンスポット新設 平成18年度 荒川六丁目グリーンスポット新設 平成20年度 荒川五丁目グリーンスポット新設 平成24年度 町屋四丁目北グリーンスポット新設 平成25年度 荒川五丁目西グリーンスポット新設 平成26年度 荒川二丁目グリーンスポット新設、荒川五丁目北グリーンスポット新設 平成27年度 荒川五丁目グリーンスポット拡張			
必要性	グリーンスポットは、小規模な用地の活用によって整備できる、必要性の高い施設である。			
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・設計は直営または委託による。 ・施工は請負工事による。			

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算額		75,389	115,222	103,405	185,726	62,610	6,773	0
①決算額（28年度は見込み）		75,389	115,221	8,568	175,541	62,336	6,773	0	
②人件費等		0	0	6,196	4,574	8,884	4,387		
③減価償却費		0	0	2,420	1,859	3,739	1,945		
【事務分担量】（%）		0	0	75	55	115	57		
合計（①+②+③）		75,389	115,221	17,184	181,974	74,959	13,105	0	
特定財源	国	密集住宅市街地整備促進事業費	26,800	55,750	2,150	94,780	25,372	1,198	0
	都	密集住宅市街地整備促進事業費	13,400	27,875	0	42,070	12,686	599	0
	その他	災害対策基金繰入金	0	0	0			0	0
	一般財源		35,189	31,596	15,034	45,124	36,901	11,308	0
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	新設か所数	-	-	1	1	2	-	-	
	拡張か所数	-	-	-	-	-	1	-	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	グリーンスポット整備工事	21,651	工事請負費	グリーンスポット拡張整備工事	6,773			
財産購入費	用地取得費	40,685						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 設置累計（箇所）	13	15	15	15	16	一年に1箇所新設
	②						
	③						

（問題点・課題分析）	関連部署との連携を強化して用地の取得を図る必要がある。
	（実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	関係部署と連携し、補助金等を活用した用地取得を図り、整備を進める。密集地域外でも事業を進める。	設置場所の中心を密集地域以外に移し、密集地域の小規模な敷地では、防災機能を有した防災スポットで整備することとした。	関係部署と連携し、補助金等を活用した用地取得を図り、密集地域以外の整備を進める。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	グリーンスポットは公園や児童遊園を補完するとともに、街の防災性の向上にも効果がある。

況議 （要 会 質 問 状）	
-------------------------------	--